

# 年間第6主日A年

わたしが来たのは律法や預言者を……完成するためである (マタイ5:17より)



昇天のキリスト フランス リモージュのサンメリヤンヌ大聖堂の典礼書挿絵

パリ フランス国立図書館 12世紀初め

# 聖書と典礼 2026.2.15

## ミサの式文の味わい

「あなたはまことのいのち……」

「教会に平和を願う祈り」で、「……教会に平和と一致をお与えください」と唱えられたあと、以前の(一九七八年版では)すぐ「アーメン」と会衆が答えるようになっていました。ただ、「アーメン」と唱えるためのきっかけが弱く、言えないままに過ぎていったこともしばしばだったのではないのでしょうか。

実は規範版の式次第に、以前からあった文言が訳されていないことがその原因の一つでした。規範版では、「……教会に平和と一致をお与えください」の後に、拝領祈願の結びの一つの形式である「あなたは生きて、治めておられます、世々とこしえに」と、ラテン語としては同じ文言が入っているのです。

これを、交わりの儀の流れの中で聖体におられるキリストへの信仰告白をこめて「あなたはまことのいのち、すべてを導かれる神、世々とこしえに」と訳したのはこの度の新しい式次第の工夫です。これによって「アーメン」と力強く、意味深く、応答できるようにもなっていると思います。(編集部)

聖書本文は旧日本聖書協会発行「聖書 新共同訳(一九九九年版)」による  
日本基督教団出版部(世) 印刷第2509660-501号「聖書と典礼」

(聖書訳を挙げる)  
典礼文様はカトリック中央協議会  
オリエンズ宗教研究所発行  
3539号

## (今週の聖書朗読)

2月16日(月・週・緑)	2月20日(金・週・紫)
ヤコブ1:1-11	イザヤ58:1-9a
125①②(詩編119)	密 7①③(詩編51)
269-④	詠 263-⑥
マルコ8:11-13	マタイ9:14-15
2月17日(火・週・緑)	2月21日(土・週・紫)
ヤコブ1:12-18	イザヤ58:9b-14
44②④(詩編19)	密 138①③(詩編86)
273-⑥	詠 261-⑦
マルコ8:14-21	ルカ5:27-32
2月18日(水・週・紫)	
灰の水曜日(大斎・小斎)	
ヨエル2:12-18	
6①②(詩編51)	
ニコリント5:20-6:2	
261-③(詩編95)	
マタイ6:1-6, 16-18	
2月19日(木・週・紫)	
申命記30:15-20	
100①④(詩編1)	
260(3C)	
ルカ9:22-25	

2月22日(日・主・紫)
四旬節第1主日
1 創世記2:7-9; 3:1-7
密 6①②, 7①(詩編51)
1 ローマ5:12-19
△5:12, 17-19
260(第1主日)
1 詠 260(第1主日)
1 詠 マタイ4:1-11

(図 啓唱詩編と ㊦ アレルレヤ唱の番号は「典礼聖歌」による)



入祭の歌 (歌わない場合は下の入祭唱を唱える)

集会祈禱

聖なる父よ、あなたは、正義を求め、誠実な人とともにおられます。わたしたちが、恵みに支えられて豊かな実りをもたらすことができますように。

聖霊による一致のうちに、あなたとともに神であり、世々としえに生き、治められる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

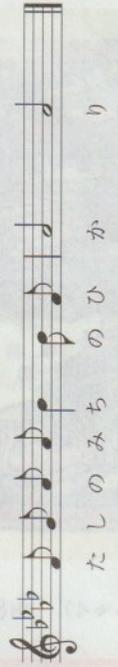
シラ書(シラ15・15-20)

15 その意志さえあれば、お前は錠を守り、しかも快く忠実にそれを行うことができる。

16 主は、お前の前に火と水を置かれた。手を差し伸べて、欲しい方を取ればよい。

17 人間の前には、生と死が置かれている。望んで選んだ道が、彼に与えられる。

18 主の知恵は豊かであり、主の力は強く、すべてを見通される。



入祭唱 (詩編31・4)  
神よ、あなたはわたしの岩、わたしのとりで。  
あなたのいつくしみによつてわたしを導き出し、養ってください。

第二朗読

主は、不信仰であれとは、だれにも命じたことはなかった  
〔主が初めに人間を造られたとき、自分で判断する力をお与えになった〕(14節)。だから、人が罪を犯すのは神の意志ではなく、あくまで人間の意志と責任に基づくことが主

19 主は、御自分を畏れる人たちに目を注がれる。人間の行いはすべて主に知られている。

20 主は、不信仰であれとは、だれにも命じたことはなく、罪を犯すことを、許されたこともなかった。

答唱詩編 (詩編119・1+2 a + 3 b, 17 + 18) 75 ① ④

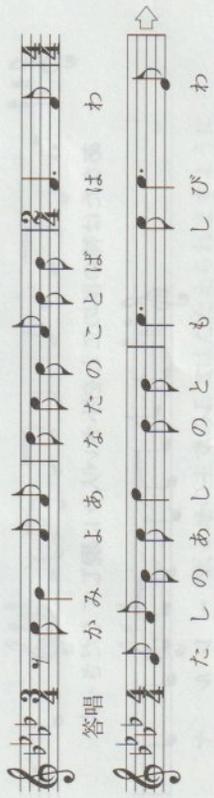
しあわせな人、道からそれず、神の教えに従って歩む人。そのさとしをとが無く守り、神の道を歩む人。

神よ、あなたのことは生涯守れるように、豊かな恵みを与えてください。

教えの偉大さを悟れるように、わたしの目を開いてください。

使徒パウロのコリントの教会への手紙(二コリント2・6-10)

6 (皆さん) わたしたちは、信仰に成熟した人たちの間では知恵を語り、それはこの世の知恵ではなく、また、この世の滅びゆく支配者たちの知恵でもありません。7 わたしたちが語るのには、隠されていた、神秘としての神の知恵であり、神がわたしたちに栄光を与えるために、世界の始まる前から定めておられたものです。8 この世の支配者たちはだれ一人、この知恵を理解しま



張されている)  
15 その意志さえあれば……  
申命記30・11-14 参照。  
18 すべてを見通される 詩編33・13-15 参照。

答唱詩編 (詩編119)

〔詩編119編の中でもっとも長い詩編で78節もある。全体として、神の掟に従うことの喜びが歌われている。ここでは特に第一朗読への答えのような節が選ばれている。なお、答唱句は15節のことば〕

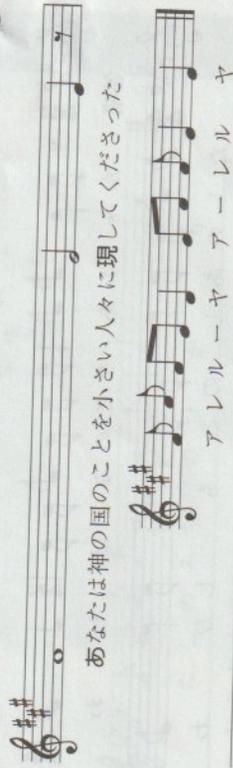
第二朗読

神はわたしたちに栄光を与えるために、世界の始まる前から知恵を定めておられた  
〔パウロのコリントでの宣教は「知恵にあふれた言葉によらず、霊」と力の証明によるもの〕(2・4) だつた

せんでした。もし理解していたら、栄光の主を十字架につけし  
なかつたでしょう。しかし、このことは、  
「目が見もせず、耳が聞きもせず、人の心に思い浮かびもしな  
かつたことを、神は御自分を愛する者たちに準備された」と  
と書いてあるとおりです。10 わたしたちには、神が「霊」によつ  
てそのことを明らかに示してくださいました。「霊」は一切のこ  
とを、神の深みさえも究めます。

アレルヤ唱 (マタイ 11:25 参照 圖 21 (6 A) (下の楽譜))

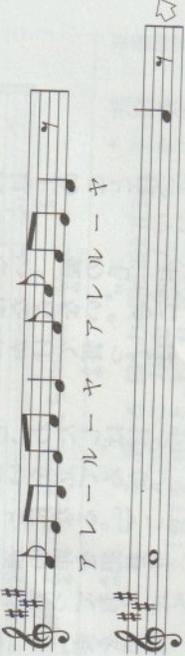
マタイによる福音 (マタイ 5:17-18、または 5:20-22、27-28、33-34 a、37)  
「そのとき、イエスは弟子たちに言われた。」  
「『わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思つ  
てはならない。廃止するためではなく、完成するためである。  
18 はつきり言っておく。すべてのことが実現し、天地が消えう  
せるまで、律法の文字から一点一画も消え去ることはない。  
19 だから、これらの最も小さな掟を一つでも破り、そうするよ  
うに人に教える者は、天の国で最も小さい者と呼ばれる。し  
かし、それを守り、そうするように教える者は、天の国で大きい  
なる者と呼ばれる。』」



7 神秘としての神の知恵 神  
がキリストの十字架によつ  
て世を救われる、というこ  
と。パウロは十字架につけ  
られたキリストこそ「神の  
力、神の知恵」(1:24)  
であるという。  
9 目が見もせず…… イザヤ  
64:3、52:15、シラ1:  
10 参照。厳密な引用とは言  
えない。  
10 「霊」 神の霊のこと。

福音朗読  
昔の人はこのように命  
じられている。しかし、  
わたしは言っておく  
「山上の説教(マタイ5-7  
章)は初代教会の中で新しく  
信者になった人々への教えと  
して集められたとも考えられ  
ている。ここで、フアリサイ  
派や律法学者の義と異なる、  
キリスト者の義が語られる」

20 言っておくが、あなたがたの義が律法学者やフアリサイ派  
の人々の義にまさっていないならば、あなたがたは決して天の国に  
入ることができない。  
21 あなたがたも聞いているとおり、昔の人は「殺すな。人を殺  
した者は裁きを受ける」と命じられている。22 しかし、わたしは  
言っておく。兄弟に腹を立てる者はだれでも裁きを受ける。」  
兄弟に「ばか」と言う者は、最高法院に引き渡され、「愚  
か者」と言う者は、火の地獄に投げ込まれる。23 だから、あな  
たが祭壇に供え物を献げようとし、兄弟が自分に反感を持つて  
いるのをそこで思い出したなら、24 その供え物を祭壇の前に置  
き、まず行って兄弟と仲直りをし、それから帰って来て、供え  
物を献げなさい。25 あなたを訴える人と一緒に道を行く場合、  
途中で早く和解しなさい。さもないと、その人はあなたを裁判  
官に引き渡し、裁判官は下役に引き渡し、あなたは牢に投げ込  
まれるにちがいない。26 はつきり言っておく。最後のクアド  
ランスを返すまで、決してそこから出ることはできない。」



天と地の主である父はたたえられますように

17 律法や預言者を…… 「律  
法と預言者」は旧約聖書全  
体を示すことは、同じ山上  
の説教の中で、「人にして  
もらいたいと思うことは何  
でも、あなたがたも人にし  
なさい。これこそ、律法と  
預言者である」(7:12)  
とされている。このよう  
な形でイエスは律法を「完  
成する」のである。  
21 殺すな…… 出エジプト 20  
・13、申命記 5:17にある  
「十戒」のことば。後半は  
出エジプト 21:12、レビ 24  
・17に似ている。  
22 兄弟に「ばか」…… 明ら  
かに誇張された表現である  
が、「殺しなさいなければ  
罪にならない」という考え  
に陥りがちな律法主義に反  
対している。  
26 クアドランス 当時の一  
日の賃金の64分の1。

《<sup>29</sup>もし、右の目<sup>み</sup>があなたをつまずかせるなら、えぐり出して捨ててしまいなさい。体の一部<sup>いちぶ</sup>がなくなっても、全身<sup>ぜんしん</sup>が地獄<sup>じごく</sup>に投げ込まれない方がましである。

<sup>30</sup>もし、右の手<sup>みぎのて</sup>があなたをつまずかせるなら、切り取<sup>きり</sup>取<sup>と</sup>って捨ててしまいなさい。体の一部<sup>いちぶ</sup>がなくなっても、全身<sup>ぜんしん</sup>が地獄<sup>じごく</sup>に落ちない方がましである。》<sup>31</sup>「妻<sup>つま</sup>を離縁<sup>りえん</sup>する者は、離縁<sup>りえん</sup>状<sup>じょう</sup>を渡<sup>わた</sup>せ」と命<sup>めい</sup>じられている。《<sup>32</sup>しかし、わたしは言<sup>い</sup>っておく。不法<sup>ふぽう</sup>な結婚<sup>けっこん</sup>でもないのに妻<sup>つま</sup>を離縁<sup>りえん</sup>する者はだれでも、その女<sup>めかけ</sup>に姦通<sup>かんつう</sup>の罪<sup>つみ</sup>を犯<sup>かか</sup>させることになる。離縁<sup>りえん</sup>された女<sup>めかけ</sup>を妻<sup>つま</sup>にする者<sup>もの</sup>も、姦通<sup>かんつう</sup>の罪<sup>つみ</sup>を犯<sup>かか</sup>すことになる。》

<sup>33</sup>「また、あなたがたも聞<sup>き</sup>いているとおり、昔<sup>むかし</sup>の人は、『偽<sup>いつはり</sup>りの誓<sup>ちか</sup>いを立てるな。主<sup>しゅ</sup>に対して誓<sup>ちか</sup>ったことは、必ず果<sup>は</sup>たせ』と命<sup>めい</sup>じられている。《<sup>34</sup>しかし、わたしは言<sup>い</sup>っておく。一切<sup>いっさい</sup>誓<sup>ちか</sup>いを立ててはならない。》

《天<sup>てん</sup>にかけて誓<sup>ちか</sup>ってはならない。そこは神<sup>かみ</sup>の玉座<sup>ぎよくざ</sup>である。《<sup>35</sup>地<sup>ち</sup>にかけて誓<sup>ちか</sup>ってはならない。そこは神<sup>かみ</sup>の足台<sup>あしだい</sup>である。エルサレム<sup>エルサレム</sup>にかけて誓<sup>ちか</sup>ってはならない。そこは大王<sup>だいおう</sup>の都<sup>みやこ</sup>である。《<sup>36</sup>また、あなたの頭<sup>あたま</sup>にかけて誓<sup>ちか</sup>ってはならない。髪<sup>かみ</sup>の毛<sup>け</sup>一本<sup>いっぽん</sup>すら、あなたは白<sup>しろ</sup>くも黒<sup>くろ</sup>くもできないからである。》

<sup>37</sup>「あなたがたは、『然<sup>しか</sup>り、然<sup>しか</sup>り』『否<sup>いな</sup>、否<sup>いな</sup>』と言<sup>い</sup>いなさい。それ以上<sup>いじょう</sup>のことは、悪<sup>わる</sup>い者<sup>もの</sup>から出<sup>で</sup>るのである。』

共同祈願 (信者の祈り) — 例文 —

キリストの教えを受けとめ、信頼のうちに祈りましょう。

27 養育するな 出エジプト 20・14、申命記 5・18 参照。

28 他人の妻 前後関係からこゝう訳されているが、原語は女性一般を意味することは。

29 1・30 もし、右の目が…… マタイ 18・8・19、マルコ 9・43・47 参照。

31 妻を離縁する者は…… 申命記 24・1 の引用。マルコ 10・4、マタイ 19・7 参照。

32 不法な結婚 「不法な」の元のことは、買春行為、転じて不道徳な性関係一般を指すが、この訳は近親結婚など(レビ 18・6 以下)を指すと解している。

33 偽りの誓いを…… レビ 19・12、民数記 30・2、申命記 23・22・24 参照。

35 大王の都 「大王」は神のこと(詩編 48・3 参照)。頭にかけて「自分の生命にかけて」の意味。

先唱 (下の例文などを参考にして意向を唱える)

一同 神のことはわたしたちのいのちの支え。(下の楽譜)

愛の源である神よ、あなたのいつくしみに生かされるわたしたちを力強く導いてください。主に従つて、神の国のために助け合い、希望の光をあかすことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

奉納祈願

全能の神よ、ここにささげる供えものによつてわたしたちを清め、新たにしてください。あなたのことばに従つて生き、み旨を行う者に約束された報いをいただくことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

拝領の歌 (歌わない場合は下の拝領唱を唱える)

拝領祈願

いつくしみ深い神よ、あなたの恵みを味わつたわたしたちが、まことのいのちの糧をいつも求めることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。



神のことはわたしたちのいのちの支え

※信仰宣言 説教の後に歌うか唱える。

共同祈願の意向(例文)

- 主キリストが教えられた生き方を、わたしたちが追い求め、隣人を愛し、互いにゆるし合つて、神の国の義に近づくことができますように。
- 国や宗教による壁を越えて和解する力をお与えください。互いに理解し、協力し合つて、ともに生きる道を探ることができますように。
- 世の中の無関心の狭間で孤立している人を顧みてください。神の愛によつて生まれる人々の交わりに迎えられ、支えられますように。
- (それぞれの共同体のために祈る)

拝領唱 (ヨハネ 3・16)

神は世を愛し、ひとり子を与えられた。子を信する人が一人も滅びることなく、永遠のいのちを得るためである。